

「つないでシート」－小中連携の視点を踏まえた単元指導計画－

● 指導内容を明確にし、指導方法を工夫する

例	小学校	数であそぼう	中学校	数字
教材	英語ノート I Lesson 3 / II Lesson 7		New Horizon 1 Word Box 1	
学習時期	5年生 6月 / 10月		1年生 6月	
配当時間	4時間 / 4時間		1時間	
内容	① いろいろな言葉で「じゃんけん」をしてみよう。 CDを聞いて、どの国の数の言い方が当ててみよう。 ♪Ten Steps♪		 <ul style="list-style-type: none"> ○ 1～100までの数字を言おう。 ○ あなたの年齢を言おう。 ○ あなたの家の電話番号を言おう。 ○ たし算、ひき算を英語で言い、答えよう。 	
	② 数の書き表し方が国によって違うね。 ♪Twenty Steps♪ CDを聞いて、聞こえた数字を線で結ぼう。 数字ピラミッド・ゲーム			
	③ キー・ナンバー・ゲーム スネークス・アンド・ラダーズ・ゲーム			
	④ 好きな漢字を書き、同じ画数を書いた友達を捜そう。			
表現	① Rock, scissors, paper. One, two, three. 1～10		<ul style="list-style-type: none"> ○ 1～100 ○ I'm twelve. ○ Yuki is three. ○ My phone number is 5390-7304. ○ 12+8=20 (Twelve plus eight is twenty.) ○ 10-4=6 (Ten minus four is six.) 	
	②③11～20 Hello. Rock, scissors, paper. One, two, three. Five. Thank you.			
	④ Hello, Ken. How many? Five. See you.			
	● 1～60			
小中連携の視点	数は実生活で使用場面が多く考えられ、親しみやすい。小学校で学習する場合、中学校の教科書の場面設定を活用して言語活動の幅を広げることが比較的容易にできる。とりわけ、13,30や15,50などは慣れ親しむ中で発音の特徴に気付かせることが可能であり、そのことが中学校以降の学習に有効である。			
接続を意識した学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 自分の年齢を言おう。 I'm eleven. (I'm happy. で既習) ◇ 自分の家の電話番号を言おう。 My phone number is ... ◇ たし算、ひき算を英語で言ってみよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ◇ いろいろな言葉で「じゃんけん」をしてみよう。 ◇ CDを聞いて、どの国の数の言い方が当ててみよう。(英語ノートと順番を変えて) ◇ 家族紹介をしよう。 This is my sister Aya. She's eleven. 	
評価規準	1～20までの数字を聞く活動に参加し、その中で自分の年齢や好きな数字を英語で言おうとしている。		1～100までの数字を聞いて理解し、自分の年齢や電話番号等を言うことができる。	

左記の一覧表を基に、題材ごとに作成する指導計画（例）です。中学校区における小中連携の組織を活用して、小学校教員と中学校英語科教員が共同して小中接続単元指導計画を作成するのも効果的な連携の方策の一つです。

外国語活動と外国語科が、どのような系統性があるのかを、児童生徒に具体的に示すことが、学ぶ意義や学習意欲の持続の一助になります。

